

## タイ・バンコクで「多古町フェア」(テストマーケティング)を開催しました!

令和4年度に「地域課題解決と経済活性化に関する協定」を締結した株式会社良品計画や現地法人の協力を得て、3月22日(金)から24日(日)の3日間、タイ・バンコクのショッピングモール「EmQuartier」内「MUJI The EmQuartier」で多古町フェアを開催しました。

多古米・やまといもの販売、おにぎり・とろろご飯・味付けトウモロコシの試食、多古米で作った甘酒の試飲など多古町のPRを実施。現地の方だけでなく、日本人駐在員の方や観光で訪れた外国の方など、多くの人でにぎわい、大盛況となりました。

町では、持続可能な農業を実現するために、今後も輸出事業を推進していくとともに海外に向けて町をPRし、インバウンドの誘致に取り組んでいきます。



お問合せ●産業経済課経済振興係 ☎ 76-5404

タイ王国で開催された多古町フェア

## 多古中央病院から

### 大腸内視鏡検査(大腸カメラ)の功

文/多古中央病院 外科 高見洋司

大腸がんは早い段階で見つけると90%以上の確率で治すことができる病気です。大腸がんの発がんの原因は分かっているものもありますが、はっきりとは分かっていません。食事による工夫などありますが、大腸がんになることを完全に防ぐ方法は見つかっていません。大腸がんの発症を防ぐことはできません。早期に発見することはできます。以前に大腸内視鏡検査(大腸カメラ)が大腸がんの発見に最も有効な検査であることはお伝えしましたが、実際に当院の直近の事例をご紹介します。

大腸がんが進行してから見つかることもあります。早い段階で見つかった内視鏡的治療(大腸カメラ)を使って腫瘍を切除することによって完治する事例があります。大腸のポリ

プで大きいもの(1センチを超えるもの)の中には、内部にがんが入っている場合があります。過去2年間の大腸ポリプ切除術は116例ありましたが、そのうち9例が内部にがんが入っているポリプでした。切除したポリプの内部にがんが入っていたということは、発見・治療があと数年遅れていたら、手術で取り切れないことになっていた可能性があります。大腸カメラは大腸がんの早期発見、治療に絶大な力を持っています。

早期発見のためには定期的な大腸内視鏡検査(大腸カメラ)を受ける必要があります。現在、健康な方であれば標準的な大腸カメラの間隔は5年といわれています。

大腸がんになる可能性は誰にでもあります。「早く見つける」という気持ちを持って定期的に検査を受けることをお勧めします。



【病院便り】

多古中央病院の受付時間は午前11時30分までとなっています。それ以降は、医師も検査や手術などに対応できないこともあるため、受診前に必ず確認の電話をお願いします。

☎(76)2211

## 新規事業のご紹介

令和6年  
4月開始

### 多古町妊産婦向けタクシー料金助成事業

妊産婦の移動に関する負担を軽減し、健やかな出産と育児の支援を目的として、タクシー利用料を助成します。

対象者●多古町に住民登録があり、母子手帳の交付を受けている方

※助成対象期間は、母子手帳の交付日から当該手帳に記載の子が1歳を迎えるまでです。

助成対象経費●

- ①妊産婦健康診査受診のための利用
- ②出産に伴う入院または退院時の利用
- ③町の乳児健診のための利用
- ④母子の体調不良による医療機関受診のための利用

助成金額・回数●

- ・タクシー利用料の1/2の額(利用1回につき上限5,000円)
- ・母子手帳に記載の子1人につき36回が上限

申請期限●母子手帳に記載の子が1歳3カ月に達する日までに申請



詳しくはこちら

### がん患者のウィッグ購入費等助成事業

がん患者の方の療養生活の質の向上や社会生活を支援することを目的として、ウィッグなどの購入(レンタル)費用を助成します。

対象者●

- ・多古町に住民登録があり、がん治療を受けた方または現在受けている方
- ・申請するウィッグなどの費用の助成を他市町村で受けていない方

助成対象品●助成回数は各1回限りです。

用具	助成額
ウィッグ(装着用ネットを含む)・毛付き帽子	購入費用またはレンタル費用(上限5万円)
補整パッド・補整下着など	購入費用(上限2万円)
エピテーゼ(補整用人工物)	購入費用(上限5万円)

※付属品およびケア用品・交通費・送料などは対象外です。

申請期限●購入またはレンタル開始の翌日から2年

お問合せ●保健福祉課健康づくり係 ☎ 76-3185



詳しくはこちら

### 多古町高齢者補聴器購入費助成事業

聴力が低下し、日常生活に支障のある高齢者に対し、補聴器の購入費用を助成します。

対象者●

- ・65歳以上で、多古町に住民登録がある方
- ・両耳の聴力レベルが40デシベル以上70デシベル未満である方  
※耳鼻咽喉科の医師により、補聴器使用の必要性が認められた場合を除く。
- ・聴覚障害による身体障害者手帳の交付を受けていない方

助成対象経費●医療機器認定を取得している補聴器本体(集音器は対象外)の購入費用(上限35,000円)

※保守料、検査料、診察料、文書料、送料などは対象外です。  
手続き方法をお伝えしますので、購入する前にご連絡ください。



詳しくはこちら

お問合せ●保健福祉課福祉係 ☎ 76-3185